



[公財]日本太鼓財団

NIPPON TAIKO FOUNDATION

会報

発行・編集 2022年秋・冬合併号

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

公益財団法人 日本太鼓財団 理事長 大澤 和彦

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL : <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email : info@nippon-taiko.or.jp

新年のごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。

会員の皆さまには、新しい良い年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

近年は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、事業の延期や中止が相次ぎましたが、昨年におきましてはワクチン接種の普及など、感染対策が広く浸透したこともあり、多くの事業を開催することができました。

3月、富山県富山市のオーバード・ホールにおいて、関係者の安全を考慮し無観客ではありましたが「第24回日本太鼓ジュニアコンクール」を実施しました。福岡県の「和太鼓たぎり」が2016年度、2018年度の優勝に続き、3度目の優勝に輝きました。

4月、東京都の国立劇場において当財団創立25周年を記念した「日本太鼓ジャンボリー 2022」を開催しました。全国から出演した優秀チームの高い演奏技術に、詰めかけた観客から大きな拍手が寄せられました。

8月、東京都の江戸川区総合文化センターにおいて「第7回大学太鼓フェスティバル」を大学太鼓連盟と共催で実施いたしました。



公益財団法人 日本太鼓財団
会長 長谷川 義

10月、静岡県御殿場市民会館にて「第24回日本太鼓全国障害者大会」を実施しました。3年ぶりの開催で、出場者の方からは関係者との久しぶりの再会に喜ぶ声が聞かれました。

11月には、東京都の隅田公園山谷堀広場にて、文化の日の恒例となっている「第6回浅草太鼓祭」を実施し、次いで国民文化祭「美ら島おきなわ文化祭2022『太鼓の祭典』」を沖縄県の名護市民会館において開催いたしました。沖縄県での初めての当財団主催事業であり、全国から集まった個性的な太鼓の演奏に指笛が吹かれ会場は盛り上がりました。さらに、石川県小松市のこまつ芸術劇場うららにて「第19回日本太鼓シニアコンクール」を開催いたしました。28組が出場され、厳正なる審査の結果、富岳太鼓（静岡県）の山内強嗣氏が見事名人位を獲得し、内閣総理大臣賞に輝きました。

これら事業を無事に実施することができましたのも、ひとえに日本財団並びにパートナー関係者、また会員の皆さま方のご支援とご協力のおかげと感謝申し上げます。

新しく迎えた2023年も、財団の設立目的である日本太鼓の普及・振興を今後も図っていくため、支部・会員の皆さまとの連携を図りながら事業運営にあたりたいと考えております。

結びに、2023年が日本太鼓界と会員の皆さまにとって良き年となるようご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

2023年度主催事業予定

新年度の予定をお知らせします。当財団公式サイトでも随時情報を掲載いたしますのでご確認ください。
なお、3月の理事会で正式決定いたします。

■日本太鼓ジャンボリー 2023

2023年5月27日(土)

文京シビックホール大ホール(東京都文京区)

■第8回大学太鼓フェスティバル

2023年8月25日(金)

文京シビックホール大ホール(東京都文京区)

■第25回日本太鼓全国障害者大会

2023年10月1日(日)

文京シビックホール大ホール(東京都文京区)

■第38回国民文化祭、第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023「太鼓の祭典」

2023年10月15日(日)

金沢歌劇座(石川県金沢市)

■第20回日本太鼓シニアコンクール

2023年11月19日(日)

輪島市文化会館(石川県輪島市)

■第26回日本太鼓ジュニアコンクール

2024年3月24日(日)

大宮ソニックシティ大ホール(埼玉県さいたま市)

■日本太鼓全国講習会

第70回 2023年8月頃予定 東北地区

第71回 2024年2月頃予定 九州地区

第7回大学太鼓フェスティバル

8月26日（金）第7回大学太鼓フェスティバルを江戸川区総合文化センター（東京都江戸川区）において開催いたしました。このフェスティバルは、18歳以下を対象とした日本太鼓ジュニアコンクールが盛んになる一方、大学進学後の太鼓活動の場が限られていることから高校卒業以降の活動を支援することを目的に実施しております。

当財団が策定した「太鼓演奏における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則り、演奏時はマウスシールドまたはマスクを着用。来場者には検温と手指消毒を徹底するなど様々な対策を施しました。

公演は、主催者を代表して当財団 大澤理事長、大学太鼓連盟 井上代表の挨拶の後、演奏が始まりました。8都府県12団体の大学太鼓団体による澆刺とした若さあふれる演奏を披露しました。

フィナーレには、大学太鼓連盟の運営メンバーによる合同演奏が披露され、その迫力にお客さまから大きな拍手が贈られました。

どの大学チームも個性が感じられ、お客さまからは「久しぶりに生演奏を見ることができて良かった」「太鼓に元気と希望をいただいた」との嬉しい声をいただきました。

<出演団体一覧> 出演順12団体

- 1.立命館大学「和太鼓ドン」（京都）
- 2.日本体育大学 伝統芸能和太鼓同好会「和桜」（東京）
- 3.流通科学大学和太鼓部（兵庫）
- 4.横浜国立大学「みんけん」（神奈川）
- 5.東京理科大学和太鼓サークル「樹」（千葉）
- 6.和太鼓サークル樂華（東京）
- 7.中央大学和太鼓サークル「鼓央」（東京）
- 8.洗足学園音楽大学和太鼓部「鼓弾」（神奈川）
- 9.田中孝記念立教大学コミュニティ福祉学部
和太鼓プロジェクト絆の会（埼玉）
- 10.大同大学和太鼓同好会「咲楽」（愛知）
- 11.東京学芸大学和太鼓サークル「結」（東京）
- 12.立命館アジア太平洋大学和太鼓「楽」（大分）

第8回大会は、東京都文京区で開催予定！

第8回大学太鼓フェスティバルは、8月25日（金）、東京都文京区の「文京シビックホール大ホール」にて開催を予定しております。皆さまのご来場お待ちしております。



（初出演：立命館大学「和太鼓ドン」・京都）



（初出演：横浜国立大学「みんけん」・神奈川）



（初出演：大同大学和太鼓同好会「咲楽」・愛知）



（大学太鼓連盟による合同演奏）

第24回日本太鼓全国障害者大会 3年ぶりに開催

10月23日(日)第24回日本太鼓全国障害者大会を御殿場市民会館(静岡県御殿場市)において開催いたしました。この大会は、1998年静岡県御殿場市にて、富岳会主催「第1回全国障害者太鼓演奏会」から始まり、「より多くの団体に出演の機会を」との声を受け、翌1999年から当財団主催、富岳会共催として実施しております。

当財団が策定した「太鼓演奏における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則り、演奏時はマウスシールドまたはマスクを着用。来場者には検温と手指消毒を徹底するなど様々な対策を施しました。

公演は、主催者を代表して当財団 大澤理事長、共催を代表して社会福祉法人富岳会 山内理事長が挨拶しました。続いて、来賓の静岡県スポーツ・文化観光部 渋谷理事、御殿場市 富尾副市長からご祝辞をいただき、主管の日本太鼓財団静岡県支部 青柳支部長の挨拶の後、演奏が始まりました。

日本太鼓に積極的に取り組んでいる11都府県18団体の知的・聴覚・視覚・身体など様々な障害を持つ方たちの太鼓団体が一堂に会し、日頃の練習の成果を力いっぱい披露しました。

各団体の演奏の合間には、出場者が太鼓との関わりについて体験発表し、観客からひたむきな演奏と発表に惜しみない拍手が送られました。

<出場団体一覧> 出場順18団体

1. 富岳太鼓竜神組(静岡)
2. 夢ん鼓(東京)
3. 社会福祉法人同朋福祉会
あそかの園同朋太鼓(山口)
4. 豊中ろう和太鼓クラブ「鼓響」(大阪)
5. やまびこ太鼓(福島)
6. 石川県立明和特別支援学校
「龍剣太鼓」OB会(石川)
7. 甲斐乃和太鼓心響会(山梨)
8. 石川県立ろう学校風神太鼓(石川)
9. 金谷大井川川越し太鼓
浜松チャレンジチーム(静岡)
10. 伊豆医療福祉センター
どんつく・やわら太鼓(静岡)
11. 岩淵組(東京)
12. 大分県糸口学園糸口太鼓(大分)
13. 徳島県立国府支援学校和太鼓部(徳島)
14. 大江戸助六流東京ろう者
和太鼓倶楽部「鼓友会」(東京)
15. ファミリーユニット童鼓(岐阜)
16. ひとみ太鼓(兵庫)
17. 恵那のまつり太鼓(岐阜)
18. 金谷大井川川越し太鼓
チャレンジチーム(静岡)

*初出場団体の体験発表をご紹介します。

夢ん鼓(東京)

みなさんこんにちは。ろう者和太鼓パフォーマンス集団の夢ん鼓のYUKIです。この度は沢山のご来場、本当にありがとうございます。

夢ん鼓の由来は「観る人たちに夢を与えていきたい」という意味です。和太鼓としての基礎を維持しながらも、従来の和太鼓スタイルとはまた新しいスタイルを追求し、もっと観る人を楽しませたいという気持ちから2005年に、代表のTETSUYAがソロパフォーマーとして北海道で夢ん鼓を立ち上げました。

今は東京に拠点を移して活動しています。コロナの影響もあり練習時間がとりにくい時期もありますが、日々コツコツと練習を重ねています。これまでの活動としては、ろう学校でのワークショップや指導、舞台出演などの活動をしています。広島や群馬など遠い所にまで出演しに行くこともありました。

1つ1つイベントを乗り越えるごとにみんなで夢ん鼓の成長を感じながら、達成感と喜びを分かち合っています。ソロとして立ち上げてから徐々にメンバーも増え、今回は3人で演奏します。今回、私たちが演奏する曲は「翔」です。私たちがこれからも色んなところへ・色んなジャンルへ型にハマることなく羽ばたいていけるようにとTETSUYAが作曲した夢ん鼓の持ち曲の中の1つです。これから演奏する「翔」の羽ばたくような自由感溢れるパフォーマンスをお楽しみ頂ければ嬉しいです。

それではよろしくお願ひします。



(初出場:夢ん鼓・東京)

岩淵組（東京）

みなさま、こんにちは！東京都から参加いたしました岩淵組の岩淵行雄です。この度の日本太鼓全国障害者大会は初出場で緊張しております。舞台に立ちたいという念願が叶い、みなさまとお会いできてとても嬉しく思います。共演者の小林香菜子さんを紹介いたします。かつて、ろう者太鼓団体の時から色々指導していただいたご縁で、長年のお付き合いです。

そして、日本太鼓財団東京都支部講習会を機に、東京都支部のイベント等での交流、または全国講習会での手話通訳として同伴でサポートしていただく等、演奏も一緒に励んでおります。

練習は限られた時間しかできなかったのですが、みなさまに魂を込めて音で楽しませたいと思います。

コロナ禍で大変なこの時世ですが、みなさまに元気をお届けできるように頑張りますので、応援よろしく願いいたします。



(初出場：岩淵組・東京)

第68回日本太鼓全国講習会・第8期公認指導員更新研修会（長野） 10月15・16日（土日）上伊那郡箕輪町「箕輪町文化センター」

長野県支部主管による全国講習会を実施いたしました。地元長野県をはじめ、16都府県62名が受講しました。開会式では当財団 大澤理事長、長野県支部 古屋支部長、来賓として箕輪町 白鳥町長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶があり、2日間の講習会が始まりました。2年ぶりに全国講習会が開催され、受講生たちは皆熱心に講習を受けていました。

○総合指導 古屋 邦夫

○基本講座

3級基本講座 高島 奈々

4級基本講座 若山 雷門

5級基本講座 松枝 明美

○専門講座

単式単打法講座（締太鼓） 渡辺 洋一（太鼓集団天邪鬼・東京）

複式単打法講座 服部 貴行（尾張新次郎太鼓保存会・愛知）

複式複打法講座 高野 右吉（高野右吉と秩父社中・埼玉）

専門講座講話 長谷川 義（当財団会長）

◇検定結果は次のとおりです。

1級検定 5名受検 5名合格（1名認定）

2級検定 2名受検 2名合格

3級検定 9名受検 9名合格・認定

4級検定 8名受検 8名合格・認定

5級検定 27名受検 27名合格・認定

講習内検定 8名受検

○第8期公認指導員更新研修会

講師 長谷川 義（当財団会長）

大澤 和彦（当財団理事長）

古屋 邦夫（当財団技術委員会委員長）

宮本 芳彦（株式会社 宮本卯之助商店代表取締役社長）

60名が公認指導員更新手続きを完了しました。



(5級基本講座)

第93回日本太鼓支部講習会（大阪）

8月6・7日（土日）泉佐野市「泉佐野市立文化会館 エブノ泉の森ホール」

大阪府支部主催による支部講習会が行われ、17名が参加しました。開会式では大阪府支部 藤支部長、当財団 大澤理事長、和歌山県支部 井寄副支部長、滋賀県支部 荒川支部長からそれぞれ挨拶があり、2日間の講習会が始まりました。受講生は一生懸命に太鼓に向き合っていました。

○総合指導・5級基本講座 古屋 邦夫

◇検定結果は次のとおりです。

5級検定 14名受検 14名合格・認定

講習内検定 3名受検



(5級基本講座)

第6回浅草太鼓祭

11月3日(木・祝)東京・浅草「隅田公園山谷堀広場」において第6回浅草太鼓祭を開催しました。

当財団が策定した「太鼓演奏における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則り、演奏時はマウスシールドまたはマスクを着用。来場者には検温と手指消毒、客席の入場制限など様々な対策を施しました。

始めに東京都支部合同チームが息の合った演奏で渡辺洋一氏作曲「櫻」を披露しました。続いて主催を代表して浅草太鼓祭実行委員会 宮崎実行委員、当財団 大澤理事長が挨拶、来賓として株式会社宮本卯之助商店 宮本会長からご祝辞をいただきました。地元浅草からの2団体を含む4都県12団体による特色ある演奏は、スカイツリーをバックに14時まで続きました。天気に恵まれ青空の下で、コロナ対策のため入場制限をしながらも満席となる約650名のお客

さまが楽しめました。

ご来場いただいた皆さまに心より感謝申し上げます。

＜出演団体一覧＞ 出演順12団体

1. 日本太鼓財団東京都支部合同チーム (東京)
2. 関東やまと太鼓 (東京)
3. 石浜太鼓 (東京)
4. 和太鼓水心会 (東京)
5. 和太鼓鼓一 (東京)
6. 待音連・猿若囃子 (東京)
7. みぞれ流船橋芝六太鼓 (千葉)
8. 和太鼓衆団高松一家 (和歌山)
9. 和太鼓道大塚 (千葉)
10. 向島游神太鼓 (東京)
11. 富岳太鼓風神組 (静岡)
12. 太鼓集団天邪鬼+天邪鬼保存会 (東京)



(受付の様子)



(初出演:和太鼓衆団高松一家・和歌山)



(日本太鼓財団東京都支部合同チーム)



(初出演:和太鼓道大塚・千葉)



(初出演:船橋芝六太鼓・千葉)



(初出演:富岳太鼓風神組・静岡)

ちゆ 美ら島おきなわ文化祭2022「太鼓の祭典」

11月6日(日)美ら島おきなわ文化祭2022 第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭「太鼓の祭典」を名護市民会館(沖縄県名護市)において1,200名のお客さまを前に盛大に開催いたしました。当財団が主催するイベントを沖縄で開催するのは初でした。

当財団が策定した「太鼓演奏における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に則り、演奏時はマウスシールドまたはマスクを着用。来場者には検温と手指消毒など様々な対策を施しました。

1時間前から並ばれるなど、開場前から多くのお客さまがお越しになり、太鼓の祭典に対する期待が伺えました。オープニングでは、日本太鼓財団沖縄県支部合同チームが「かりゆし」を演奏し、盛大な幕開けとなりました。開会式では主催者を代表して沖縄県文化観光スポーツ部 川上統括監、名護市渡具知市長、当財団 長谷川会長、沖縄県支部 金城支部長が挨拶いたしました。地元沖縄県からの3団体を含む16県及び台湾から27団体が出演し、各地の特色ある演奏が披露され、団体ごとにお客さまから大きな拍手が湧きました。フィナーレは出演団体の代表者が舞台に集まり、大澤理事長の音頭でお客さま全員と三本締めを行い、幕を閉じました。

お客さまからは「素晴らしかった!ありがとう!」「エネルギーあふん演奏を見て元気が出た」との嬉しい感想が寄せられました。

ご来場いただきました皆さま並びに関係者の方々に心より感謝申し上げます。

次回は、石川県金沢市で10月15日(日)に開催予定です。詳細は12ページをご覧ください。



(初出演: 総管太鼓同志会 / 舞葵琉太鼓 / 嘉手納町連合青年会 / 嘉手納町東区獅子舞保存会・沖縄)



(初出演: 甲斐乃和太鼓心響会・山梨)



(初出演: 大崎なごり会・広島)



(初出演: 御璃刃・三重)



(初出演: 琉球風車・沖縄)



(初出演: 宇都宮和太鼓衆阿・叶・栃木)



(初出演: 糸島二丈絆太鼓・福岡)



(初出演:創作和太鼓集団みのり太鼓・茨城)



(初出演:志賀豊年力太鼓保存会・石川)



(フィナーレ)

<出演団体一覧> 出演順27団体

1. 日本太鼓財団沖縄県支部合同チーム
2. 華音 (神奈川)
3. 御璃刃 (三重)
4. 盛岡さんさ踊り清流 (岩手)
5. 開成水神雷太鼓保存会 (神奈川)
6. 和太鼓サスケ (石川)
7. 宇都宮和太鼓衆阿・吽 (栃木)
8. 總管太鼓同志会/舞葵琉太鼓/嘉手納町連合青年会/
嘉手納町東区獅子舞保存会 (沖縄)
9. 甲斐乃和太鼓心響会 (山梨)
10. 大崎なごり会 (広島)
11. 打吹童子ばやし (鳥取)
12. 福岡大学和太鼓部「鼓舞猿」 (福岡)
13. 琉球風車 (沖縄)
14. 和太鼓一座天響 (宮崎)
15. 糸島二丈絆太鼓 (福岡)
16. 創作和太鼓集団みのり太鼓 (茨城)
17. 広島文教大学和太鼓部「文教太鼓 仁」 (広島)
18. 志賀豊年力太鼓保存会 (石川)
19. 大和太鼓保存会 (佐賀)
20. 大治太鼓保存会 (愛知)
21. 台湾源流打々 (台湾)
22. 名護桜太鼓 (沖縄)
23. 橘太鼓「響座」 (宮崎)
24. 御諏訪太鼓保存会 (長野)
25. 和太鼓たぎり (福岡)
26. 御陣乗太鼓保存会 (石川)
27. 豊の国ゆふいん源流太鼓 (大分)

* 日本太鼓財団沖縄県支部 金城支部長にご寄稿いただきました。

文化芸術の花 咲いわり 美ら島おきなわ文化祭 2022

第37回国民文化祭 第22回全国障害者芸術・文化祭 「太鼓の祭典」を終えて

日本太鼓財団沖縄県支部 支部長 金城 一文

沖縄県は2022年に日本復帰50周年を迎えました。

この節目の年に美ら島おきなわ文化祭2022が「文化芸術の花 咲いわり」をテーマに2022年10月22日から11月27日までの37日間に渡り開催されました。その一環である「太鼓の祭典」を地元沖縄県支部が主管となり総勢27団体の皆様を迎え入れ、無事皆笑顔で終える事ができました。

開催にあたりまして、日本財団、公益財団法人日本太鼓財団、全九州太鼓連合、ボランティアの皆様の格別のご支援、ご協力をいただき、深く感謝申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止策を取りながら御来場下さいましたお客様にもご協力頂きまして、誠にありがとうございました。

支部といたしましても事前準備等、初めての試みが多く、本番を終えるまで、正直不安でいっぱいでした。

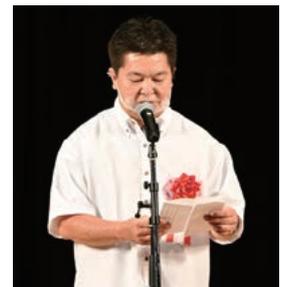
しかし、そんな中でも、それぞれの団体がひとつになって合同曲を作り、本番のオープニング曲で沖縄県支部合同チームとして演奏した時の感動は、太鼓を通しての、友情や絆が深まった瞬間でした。

そして全国各地域、色取りどりの勇壮な太鼓の響きは個性豊かで、来場頂いた皆様が「ちむドンドン」し多くの方を勇気づけるメッセージになったのではないかと確信しております。

いつか又、全国太鼓仲間の皆さんと、どこかで一緒に、太鼓が打てる日を楽しみに、私達支部も日々練習に励んで行きたいと思えます。

本年は10月15日に石川県金沢市において「太鼓の祭典」が開催されますが、益々すばらしい大会になる事を祈念申し上げます。

結びに、本祭典の開催にあたり、格別なご尽力頂きました多くの関係団体、運営に携わって頂きました関係者の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。



(開会式・金城支部長挨拶)

第19回日本太鼓シニアコンクール開催 山内強嗣氏が栄冠に輝く！！

11月20日(日)石川県小松市「こまつ芸術劇場うらら」において第19回日本太鼓シニアコンクールを開催しました。この大会は、味わい深い演奏を披露するとともに、熟練した太鼓技術を後進に引継ぐことを目指しており、第3回・2006年度より文部科学大臣賞が下付され、第16回・2019年度より内閣総理大臣賞が下付されました。

今大会は11都道府県から28組58名が参加し、栄えある名人位となり内閣総理大臣賞を手にしたのは山内強嗣氏(静岡・64歳)でした。2021年に初出場し、2度目の挑戦で見事優勝に輝きました。

また、増田勝明氏(東京・63歳)が準名人に、若泉恵子氏(福井・67歳)が第3位を受賞されました。



(表彰式)

<受賞一覧> (敬称略)

名人位

内閣総理大臣賞 山内 強嗣 (静岡)

準名人

文部科学大臣賞 増田 勝明 (東京)

第3位

石川県知事賞 若泉 恵子 (福井)

特別賞

小松市長賞	大江 正明 (石川)
北國新聞社賞	櫛引 秀明 (北海道)
石川県芸術文化協会賞	河合 光夫 (岐阜)
北陸放送賞	村田 謙二 (石川)
テレビ金沢賞	望月 宏子 (東京)
北陸三県太鼓協会賞	飛龍 源一郎 (埼玉)
日本太鼓財団石川県支部賞	雁部 隆治 (東京)
(株)浅野太鼓楽器店賞	中川 良治 (石川)

審査委員 (敬称略・五十音順)

一川 明宏 (津軽三味線明宏会主宰)
 大澤 和彦 (当財団理事長) * 審査委員長
 高野 右吉 (当財団副会長)
 西本 東介 (北國新聞社事業局長)
 長谷川 義 (当財団会長)
 古屋 邦夫 (当財団技術委員会委員長)
 山田 正俊 (日本マーチングバンド協会北陸支部支部長)

*山内強嗣名人にご寄稿いただきました。

日本太鼓シニアコンクールに参加して

富岳太鼓 山内 強嗣

まず始めに、未だ終息が見えぬコロナ禍において、大変なご苦勞の中、開催をしてくださいました(公財)日本太鼓財団並びに日本太鼓財団石川県支部のスタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。

第16回から、最優秀者には内閣総理大臣賞が授与されるという大変格調高い大会となったこのシニアコンクール。16回大会は秩父屋台囃子の高野右吉名人。17回は残念ながら中止となりましたが、18回はゆふいん源流太鼓の長谷川義名人。この偉大な2人に続く3人目の内閣総理大臣賞。何としてもでも次は自分が手にしたい。そんな強い思いから一念発起。コロナウィルスの感染拡大でなまった体をゼロから鍛えなおす日々から始まりました。

若い頃は太太鼓を力任せに叩いて、とにかく人に負けない大きな音を出すことだけを考えていました。しかしこうして太太鼓と向かい合うこと35年目。力任せに『叩く太鼓から打つ太鼓』に変わった自分に気づかされました。和太鼓は自分の心や神や人に伝えるコミュニケーションの道具(楽器)です。ただ大きく強く叩くのではなく、全身全霊を込めて打ち込む楽器です。その音は時に力強く人に勇気を与え、また時に繊細に人の心を癒してもくれます。和太鼓を打ち込むことは音を出すためだけでなく、観る人、聴く人の心も打つことが出来るのです。そして稽古は精神と肉体の鍛錬の場です。手を抜かず常に全力で真摯に太鼓に向かい打ち込むこと。これは一道に通ずればおのずと他に通ずるといふ教えのように、人生や仕事のやる気にも繋がりました。

今回、全国大会に向け無心で打ち込んだ日々は、初心に戻って、多くの事をあらためて学ばせていただく良い機会となりました。今後はこの賞に恥ずることなく、次代のリーダーの育成に力を注ぐ所存しております。ありがとうございました。



(名人位 山内強嗣・静岡)



(準名人 増田勝明・東京)



(第3位 若泉恵子・福井)

<出場団体一覧> 出場順28組

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 助六太鼓保存会「粹打楽」(東京) | 15. 丹波 良一(石川) |
| 2. 助六太鼓保存会「こぶし」(東京) | 16. 飛龍 源一郎(埼玉) |
| 3. 讃岐の鼓響(香川) | 17. 森田 利昭(石川) |
| 4. 荏原流れ太鼓ひびき会(東京) | 18. 村田 謙二(石川) |
| 5. 久保 史朗(石川) | 19. 西岡 知則(京都) |
| 6. 小幡 潔(東京) | 20. 山内 強嗣(静岡) |
| 7. 濱口 幸(三重) | 21. 大江 正明(石川) |
| 8. 増田 律行(静岡) | 22. 雁部 隆治(東京) |
| 9. 吉田 宗廣(東京) | 23. 得能 力知(石川) |
| 10. 中川 良治(石川) | 24. 小川 義昭(石川) |
| 11. 宮井 昭雄(石川) | 25. 増田 勝明(東京) |
| 12. 河合 光夫(岐阜) | 26. 望月 宏子(東京) |
| 13. 松井 秀明(東京) | 27. 櫛引 秀明(北海道) |
| 14. 立石 健秀(東京) | 28. 若泉 恵子(福井) |

第5回北海道太鼓ジュニアコンクール

10月30日(日) 北海道江別市「江別市民会館」

日本太鼓財団北海道連合会主催、北海道3支部7団体が参加し、無観客の中、無事に終了いたしました。

優勝 江別見晴台鼓楽会豊太鼓(北海道道央)

準優勝 室蘭和太鼓會(北海道道南)

第3位 赤平火太鼓保存会(北海道道西)

日本太鼓財団賞 北海みゆき太鼓(北海道道南)

支部予選で全国大会出場権を得ていない団体の中から最上位の団体が全国大会出場権を得ます。当財団技術委員を含めた審査委員会の協議により、予選で全国大会の出場権を得ていない団体の最上位団体であった「北海みゆき太鼓」(北海道道南)が全国大会に推薦されることとなりました。



(優勝:江別見晴台鼓楽会豊太鼓)

第11回東北太鼓ジュニアコンクール

11月27日(日) 岩手県一関市「一関文化センター」

東北太鼓連合主催、東北5県より12団体が参加し、無事に終了いたしました。

優勝 やまばと太鼓(秋田)

準優勝 岩手県立宮古水産高等学校太鼓部(岩手)

第3位 仙北太鼓Jr(秋田)

日本太鼓財団賞 福島県立相馬高等学校相馬太鼓部(福島)

支部予選で全国大会出場権を得ていない団体の中から最上位の団体が全国大会出場権を得ます。当財団技術委員を含めた審査委員会の協議により、予選で全国大会の出場権を得ていない団体の最上位団体であった「やまばと太鼓」(秋田)が全国大会に推薦されることとなりました。



(優勝:やまばと太鼓)

第13回台湾太鼓ジュニアコンクール

12月4日(日) 台湾台北市「国立陽明交通大学」

12団体の出場に加えて、2団体が特別演奏しました。約400名の観客を集め、盛況裡に終了いたしました。

審査の結果、「葫蘆墩Smile太鼓團」が5度目の優勝を果たし、今年3月に石川県金沢市で開催する第25回日本太鼓ジュニアコンクールに出場することが決定しました。

優勝 葫蘆墩Smile太鼓團(台中市)

準優勝 東山太鼓薪火組(台北市)

第3位 陽太鼓(台中市)

日本太鼓財団賞 玉山高中太鼓隊(台中市)



(優勝: 葫蘆墩Smile太鼓團)

第17回全九州・日本太鼓ジュニアコンクール

12月18日(日) 長崎県佐世保市「アルカスSASEBO」

「舞鶴一座秋月鼓童」(宮崎)が優勝しました。詳細は当財団公式サイトをご参照ください。

規定により予選で全国大会出場権を得ていない団体の中から最上位の団体が全国大会出場権を得ます。

今回は「舞鶴一座秋月鼓童」(宮崎)の出場が認められることとなりました。

東京・虎ノ門一丁目琴平町の夏祭り

8月5日(金) 当財団ビルの町内会である「虎ノ門一丁目琴平町会」の夏祭りが開催されました。

邦楽アカデミー和太鼓大元組ジュニア(東京)と日本財団関連団体関係者で構成された和太鼓水心会(東京)が演奏を披露しました。

オフィスビル街での夏祭りの太鼓演奏に、家路に向かう人々も足を止め、うだるような夏の暑さを一時忘れ楽しんでおられました。



(和太鼓水心会)

第14回台湾太鼓講習会

11月12・13日(土日) 台湾太鼓協会主催の第14回台湾太鼓講習会を、台北桃園国際空港に近い「救國團復興青年活動中心」にて実施し、台湾全土から119名が受講しました。

開会式では、王理事長が挨拶に続いて日本からの講師を紹介し、総合指導の古屋技術委員長が講習会の内容を説明しました。講習会が始まると、受講生は講師の指導を一生懸命聴いていました。

○基本講座

3級基本講座 野方 嘉孝

4級基本講座 松枝 明美

総合指導・5級基本講座 古屋 邦夫

○専門講座

単式単打法講座(縮太鼓)

長谷川 義(豊の国ゆふいん源流太鼓・大分)

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

1級検定 6名受験 6名合格(2名認定)

2級検定 11名受験 11名合格(7名認定)

3級検定 13名受験 13名合格・認定

4級検定 18名受験 18名合格・認定

5級検定 71名受験 71名合格・認定



(5級基本講座)

第73回運営委員会を书面開催

第73回運営委員会を书面にて開催し、次の事項が審議、承認されました。

1. 賛助会員(株式会社リッツ「篠笛立平」)の入会について

事務局だより

第25回日本太鼓ジュニアコンクール

期 日:2023年3月19日(日) 開場9:30 開演10:00(予定)

会 場:金沢歌劇座

〒920-0993 石川県金沢市下本多町6番丁27番地 Tel. 076-220-2501

主 催:公益財団法人 日本太鼓財団

主 管:公益社団法人 石川県太鼓連盟、日本太鼓財団石川県支部

入 場 料:2,000円(前売のみ) ※数に限りがありますのでお早めにご購入ください。

チケットぴあにて2月1日10時より販売開始! Pコード234-281

詳細は決定次第、当財団公式サイトに掲載いたします。



***今回もYouTubeにより生配信いたします!**

会場にお越しになれない方は、右記QRコードよりご覧いただけます。

出場団体:46団体【国内44団体(37都道府県)、ブラジル、台湾代表チーム】(予定)

出場団体及び出場順番は2023年1月20日 開催の運営・技術合同委員会にて決定いたします。

予選:35団体(34支部) 地区・支部推薦:8団体 支部未開設県:1団体 海外:2団体

道 東:蝦夷太鼓ジュニア	愛 知:松平わ太鼓
道 央:江別見晴台鼓楽会豊太鼓	三 重:津・高虎太鼓
道 西:赤平火太鼓保存会	京 都:大和の響き・京
道 南:室蘭和太鼓會北風	大 阪:金光藤蔭高等学校和太鼓部“鼓響”
岩 手:岩手県立大船渡東高等学校 太鼓部	和歌山:境原和太鼓クラブ
宮 城:高倉夔太鼓	兵 庫:養父太鼓鼓彩
秋 田:仙北太鼓Jr	岡 山:ふじた傳三郎太鼓童
山 形:太鼓道場風の会ジュニア雷神組	広 島:和☆Rock Jr.奏
福 島:會津田島太鼓「狐ノ刃」	島 根:掛合太鼓ジュニア
栃 木:岩舟武蔵太鼓Jr.	高 知:明德義塾中学・高等学校太鼓衆魅鼓
群 馬:上州あずま太鼓会	香 川:和太鼓集団夢幻の会子ども太鼓
埼 玉:川越ふじ太鼓	福 岡:糸島二丈絆太鼓
千 葉:和太鼓風	佐 賀:大和太鼓保存会鼓天童子
東 京:東京都立白鷗高等学校和太鼓部	長 崎:諫早天満太鼓
神奈川:SEISA 打鼓音	熊 本:託東太鼓
静 岡:富岳太鼓風神組	大 分:三代目源流
新 潟:新潟万代太鼓鼓助	宮 崎:橘太鼓「響座」ジュニア
富 山:源多良太鼓保存会「心(Shin)」	鹿児島:火の神乙女太鼓爽
石 川:和太鼓サスケ	北海道:北海みゆき太鼓
輪島・和太鼓虎之介	東 北:やまばと太鼓
福 井:永平寺龍童太鼓	九 州:舞鶴一座秋月鼓童
長 野:信濃国松川響岳太鼓子供会	ブラジル:クリチーバ若葉太鼓
岐 阜:上石津もんでこ太鼓保存会「結」	台 湾:葫蘆墩Smile太鼓團

*北海道大会の結果から「北海みゆき太鼓」(北海道)、東北大会の結果から「やまばと太鼓」(秋田)、九州大会の結果から「舞鶴一座秋月鼓童」(宮崎)が、推薦されました。

第69回日本太鼓全国講習会・第8期公認指導員更新研修会（長崎）

期 日：2023年2月11・12日（土日）

会 場：シーハットおおむら（〒856-0836 長崎県大村市幸町25-33 Tel. 0957-20-7200）

主 催：公益財団法人 日本太鼓財団

○総合指導 古屋 邦夫（技術委員会委員長）

○基本講座

3級基本講座 安江 信寿

4級基本講座 野方 嘉孝

5級基本講座（初心者講座） 松枝 明美

○専門講座

単式複打法講座 菊池 修（八丈太鼓六人会・東京）

複式単打法講座 河合 朋宣（越中いさみ太鼓保存会・富山）

複式複打法講座 長谷川 義（豊の国ゆふいん源流太鼓・大分）

専門講座講話 浅野 昭利（（一財）浅野太鼓文化研究所理事長）

○更新研修会 長谷川 義（当財団会長）、大澤 和彦（当財団理事長）、

古屋 邦夫（当財団技術委員会委員長）、宮本 芳彦（株式会社 宮本卯之助商店代表取締役社長）

申 込 先：ページ下部の公益財団法人 日本太鼓財団までお申込みください。

担当：笠原、山本 E-mail:jigyo@nippon-taiko.or.jp

お問合せ先：日本太鼓財団長崎県支部 事務局 脇坂和紀

携帯：090-8394-2048 E-mail:kazuwaki1021441@yahoo.co.jp

締 切：2023年1月29日（日）*必着

第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023「太鼓の祭典」出演団体募集中！

2023年10月15日（日）石川県金沢市「金沢歌劇座」にて開催する第38回国民文化祭 第23回全国障害者芸術・文化祭 いしかわ百万石文化祭2023「太鼓の祭典」の出演団体を募集中です。詳細は当財団公式サイトからご覧ください。皆さまのご応募をお待ちしております。

日 時：2023年10月15日（日） 開場10:00 開演10:30（予定）

会 場：金沢歌劇座 〒920-0993 石川県金沢市下本多町6番丁27番地 Tel. 076-220-2501

演奏時間：1団体10分以内（入退場含む）*希望団体多数の場合は、演奏時間が短くなる場合があります。

締 切：2023年3月31日（金）*必着

*新型コロナウイルスの感染拡大状況によっては、変更や中止となる可能性があります。

当財団公式サイトで随時情報を掲載いたしますのでご確認ください。

訃 報

五島進氏（馬道地区町会連合会 会長・享年79）が7月17日にご逝去されました。同氏には浅草太鼓祭実行委員会の立ち上げよりご尽力いただき、浅草太鼓祭の発展のためにお力添えいただきました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。

脇元勝己氏（天孫降臨霧島九面太鼓保存会 名誉会長・享年82）が8月9日にご逝去されました。同氏には評議員として、また当財団の主催事業にご出演いただくなど、日本太鼓の普及、発展のためにご尽力いただき、永年にわたり財団の活動にお力添えいただきました。謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈り申し上げます。



公益財団法人 日本太鼓財団

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-11-2 日本財団第二ビル6階

Tel. 03-6205-4377 Fax. 03-6205-4378

URL: <https://www.nippon-taiko.or.jp> Email: info@nippon-taiko.or.jp

